

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,200,000	0	14,200,000	14,200,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
補助金収入	0	0	0	0	0	
事業収入		50,000	50,000	66,400	-16,400	自主事業参加費
雑入	0	40,000	40,000	168,156	-128,156	
印刷代		40,000	40,000	154,777	-114,777	
自動販売機手数料		0		0	0	
その他(預金利子)		0		85	-85	
その他		0		248	-248	古紙ルート回収
その他(繰入)				13,046	-13,046	繰越金・事務局収入
収入合計	14,200,000	90,000	14,290,000	14,434,556	-144,556	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	7,500,000	-244,000	7,256,000	7,326,229	-70,229	
給与・賃金	7,044,000	-244,000	6,800,000	6,821,990	-21,990	
社会保険料	450,000		450,000	491,396	-41,396	
通勤手当	0		0	0	0	
健康診断費	0		0	6,843	-6,843	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	
事務費	1,265,000	70,000	1,335,000	1,680,788	-345,788	
旅費	15,000		15,000	16,600	-1,600	
消耗品費	380,000	-80,000	300,000	314,376	-14,376	事務費・パフォーマンス料等
会議賄い費	20,000		20,000	16,226	3,774	
印刷製本費等	50,000	150,000	200,000	271,610	-71,610	トナー・インク・パフォーマンス料
通信費	200,000		200,000	157,429	42,571	電話・切手・インターネット等
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	359,945	-59,945	
図書購入費	300,000		300,000	186,842	113,158	
施設賠償責任保険	0		0	24,350	-24,350	
職員等研修費	0		0	7,700	-7,700	接遇研修費
振込手数料	0		0	8,190	-8,190	
リース料	0		0	317,520	-317,520	PC・機・リクグラ
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事業費	350,000	50,000	400,000	368,074	31,926	
自主事業費	350,000	50,000	400,000	368,074	31,926	
管理費	3,546,000	50,000	3,596,000	2,839,733	756,267	
光熱水費	1,646,000	50,000	1,696,000	1,259,233	436,767	
電気料金	1,200,000		1,200,000	568,504	631,496	
ガス料金	396,000		396,000	640,594	-244,594	
水道料金	50,000	50,000	100,000	50,135	49,865	
清掃費	900,000		900,000	905,562	-5,562	ゴミルート回収費(¥23557)
修繕費	300,000		300,000	202,186	97,814	鉛電池取替作業他
機械警備費	100,000		100,000	56,700	43,300	
設備保全費	600,000	0	600,000	416,052	183,948	
空調衛生設備保守	15,000		15,000	75,471	-60,471	冷暖房保守他
消防設備保守	35,000		35,000	31,647	3,353	消防設備点検
電気設備保守	250,000		250,000	168,979	81,021	エレベーター・自動扉点検
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	清掃費に含む
その他保全費	300,000		300,000	139,955	160,045	設備総合点検・植木剪定・水質検査
共益費			0	0	0	
公租公課			0	470,436	-470,436	消費税他
事務経費	1,539,000	164,000	1,703,000	854,581	848,419	
ニーズ対応費						
支出合計	14,200,000	90,000	14,290,000	13,539,841	750,159	

差引	0	0	0	894,715	-894,715	
----	---	---	---	---------	----------	--

平成 22 年度地区センター利用状況（団体 + 個人利用）

施設名 霧が丘コミュニティハウス

月別	閉館日数 (日)	入館者数(人)			利用層別利用数(人)									
		男性	女性	合計	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	一般 (男性)	一般 (女性)	65歳以上 (男性)	65歳以上 (女性)	合計
4月	29	415	990	1,405	59	243	17	16	8	290	686	40	46	1,405
5月	30	425	875	1,300	69	263	30	45	9	224	515	59	86	1,300
6月	29	494	1,010	1,504	81	221	57	28	17	299	658	63	80	1,504
7月	30	640	1,218	1,858	95	657	55	40	18	308	603	43	39	1,858
8月	30	617	1,039	1,656	74	623	195	43	18	205	412	54	32	1,656
9月	29	778	1,549	2,327	71	391	40	35	14	461	986	124	205	2,327
上半期計	177	3,369	6,681	10,050	449	2,398	394	207	84	1,787	3,860	383	488	10,050
10月	30	391	808	1,199	70	236	8	42	6	210	498	53	76	1,199
11月	29	446	875	1,321	60	179	52	53	11	278	568	41	79	1,321
12月	27	395	690	1,085	53	179	20	58	14	230	464	29	38	1,085
1月	27	330	729	1,059	33	154	35	33	11	192	508	36	57	1,059
2月	27	479	864	1,343	83	189	23	16	14	279	585	54	100	1,343
3月	24	431	919	1,350	42	207	25	9	12	269	670	42	74	1,350
下半期計	164	2,472	4,885	7,357	341	1,144	163	211	68	1,458	3,293	255	424	7,357
年間合計	341	5,841	11,566	17,407	790	3,542	557	418	152	3,245	7,153	638	912	17,407

月別	居住区別利用数(人)				その他利用数		
	区内	区外	市外	合計	体育室 (人)	レコール (人)	図書貸出 冊数
4月	1,240	138	27	1,405			306
5月	1,199	94	7	1,300			409
6月	1,373	128	3	1,504			371
7月	1,733	107	18	1,858			448
8月	1,563	91	2	1,656			314
9月	2,188	138	1	2,327			268
上半期計	9,296	696	58	10,050	0	0	2,116
10月	1,115	82	2	1,199			361
11月	1,177	143	1	1,321			256
12月	1,005	79	1	1,085			283
1月	963	91	5	1,059			270
2月	1,229	112	2	1,343			271
3月	1,209	141	0	1,350			280
下半期計	6,698	648	11	7,357	0	0	1,721
年間合計	15,994	1,344	69	17,407	0	0	3,837

平成22年度自主事業報告書

霧が丘コミュニティハウス

募集対象	事業名	開催時期 及び回数	参加人数		自主事業経費			一人当たり参加費		講師謝金		備考
			募集 人数	延参加 人数	委託料 支出総額	参加費 負担総額	総経費	徴収の 有、無	参加 費用	1回 1講師当たり	1教室 講師謝金額	
成人	着付け教室	4～2月 11回	15	77	63,550	0	63,550	無	0	5,555 1,000	63,550	
小中成人	中国雑技・変面ショー・ 二胡独奏（連携事業）	4月 1回	300	185	30,000	0	30,000	無	0	30,000	30,000	157500をケアプラ とコミハ各3万円支払 う
成人	はがき絵	4月～5月 2回	15	24	9,413	7,200	16,613	有	300	5,555	11,110	
成人	緑にふれる 春・秋	6月・11月 2回	70	81	40,000	0	40,000	無	0	0	0	ボランティア
小中成人	交通安全教室（連携事業）	7月 1回	300	263	30,000	0	30,000	無	0	30,000	30,000	25万をコミハとケアが 各3万はまっ子2万連合17万
小中成人	ドッチボール大会	8月 1回	50	30	8,555	0	8,555	無	0	5,555	5,555	
小中成人	ゆうゆう霧が丘	9月 1回	400	456	11,925	0	11,925	無	0	0	0	霧の里交流
成人	指編み	10月～12月 6回	60	39	28,757	19,500	48,257	有	500	5,555	33,330	
成人	フラワーアレンジメント	11月・12月 2回	30	23	14,110	34,000	48,110	有	1,000 2,000	5,555	11,110	
成人	雛飾りを作ろう	2月 2回	24	19	27,310	5,700	33,010	有	300	5,555 1,000	14,110	指導に人数必要 午前午後2回開催 講師2・助手3
幼小成人	体操ゲーム	2月 1回	20	20	15,390	0	15,390	無	0	7,000 5,555	12,555	
成人	地域防災 「いざ！という時自分の役割は」	3月 1回	80	91	10,699	0	10,699	無	0	8,000	8,000	
小中	みんなでやろう！卓球	3月 1回	50	41	11,965	0	11,965	無	0	5,555	5,555	体育館使用 2,000円
計				1,349	301,674	66,400	368,074				224,875	

22年度 苦情対応状況報告

	年月日	内容	対応結果(対応者)
1	5月	中央廊下の階段手すりが2箇所、亀裂が あってビニールテープを巻いている。ケア プラディサービスの利用者が安心して掴ま ることが出来ないとの事。	霧の里会議時に話をして早急に修理 をしてもらうように依頼した。業者見積 もり中です。
2	7月	自動ドア前にイスをおいていたのが、いつ のまにか取り払われた。履きものを脱ぎき する際にないと不自由。手すり側の反対に おいてほしい。と、要望された。	霧の里会議に話し、ケアプラザと相 談。ケアプラザサイドで介護対応のイ スを用意することになりました。(現在、 電話の横に1個おいてあります)
4	10月	空手練習後、他の習い事に行く為、親が一 緒であれば小学生の自転車乗入れを認め てほしい。	門前が車道で、坂になっている等、構 造場、とても危ないので、運営委員 会で小学生は徒歩で来館と決められて いますので、説明して納得いただきま した。
5	10月	3階IISJの保護者より、駐車場利用に関し ての苦情・子供たちをどなっている・不愉快 など。	毎月、霧の里会議を開き話合っているにも関わ らず、IISJさんそのものが、複合施設運営上の ルールを、保護者に一切説明をされていない 事がわかり、臨時霧の里会議を経済観光局立 会のもと保護者同席で開き、話し合い、今後の 利用法検討中。
6	11月	月1回の霧の里会議に3階、IISJ本部より 話し合いが理解できる方が出席していま す。保護者にもプリント等で施設・霧の里も 理解していただくように対応しています。	以前よりは、複合施設であることを少 しご理解いただいています。ルール がなかなかおわかりいただけません。
7	12月	敷地内に自動販売機があったらいいです ね。との、声。	今現在、スポーツ広場の管理の方で 検討中です。
8	1月	電話での問い合わせで、全くの個人利用で は、団体登録をして頂く事が無理です。 と、説明が不足だったために、お叱りをい ただきました。	ご連絡をしまして、まず、謝りました。 改めて利用上のルールを申し上げま して、ご納得を頂きました。ケアプラザ とも連絡をとりあって対応しました。
9	2月	学習コーナー図書コーナーで、子どもたち の声が賑やか過ぎるので注意したら、保 護者から、事務室内の大人の声も大きくて うるさい!と、逆にお叱りを受けた。	まずは申し訳ございません・気をつけ ます。と誤った上で、学習コーナー図 書コーナーの利用上の注意を説明し ました。
10	3月	霧の里の駐車場を一般も使用できると勘 違いされて来られた。	施設の説明をして了解された。
11			

22年度 サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内 容	効 果
1	4月	年度スタートにあたり、お客様に気持ちよくご利用いただくため、各室はもちろんのこと通常、使用の少ない机、イスなどの拭き掃除・水モップ使用の徹底にスタッフ一同心がけました。	机の鉛筆汚れなども消えて一段ときれいになり、お客様から、いつも掃除が行き届いていて気持ちいいね。と喜ばれました。
2	5月	ケアプラ・コミハの利用団体が多く重なる場合、スリッパは予備を出して対応、しかし、靴箱が不足で玄関に並べられ通行の邪魔になる。カウンター下にシートを用意する事にした。	その時々への対応ではあるが、利用者さんの協力もいただいで、通行を妨げずにすんなり・スッキリしました。
3	6月	地域・ケアプラザ・コミハ・団体利用者さん・運営委員さん・スタッフ全員で霧の里全体の草取りをして、花が植えられ、一段と明るく綺麗になりました。	大勢の方たちのご協力に感謝しています。「自分たちが通って来るところだから！」との声に、霧の里がやっと地域に定着しはじめてきたかな。と、感じました。
	7月	地域とケアプラザ・コミハとの連携で交通安全教室を開催した。日常起こりうる事故の再現をスタントマンにより実際にみました。横断歩道(特にカーブの所)では前に出ずに、最低3歩は下がらないと巻き込まれるケースが多い等。視聴覚に訴えた取り組みでした。	事故の瞬間、悲鳴をあげている人もいる程でした。「普段の何気ない行動を改める必要があると実感！」来場者は口をそろえて言っていた。子どもも大人も大変勉強になった教室でした。
4	7月	夏休みも近いので、こどもたちの本・大人の本を増やすことにしました。9月に開館3周年のお祝いに霧の里合同で利用団体の交流会を開催予定。各利用団体より実行委員を選出して実行委員会を立ちあげた。皆さんはりきって楽しみにしているようです。	本が少しでも増えると嬉しいようで、開館と同時に開いてますか？と、来館します。3周年の交流会は「ゆうゆう霧が丘」と名がつき、9月11日(土)10時~15時の開催となりました。
6	8月	6月に敷地内いっばいに植えられたマリーゴールドの枯れた花をスタッフ一同が頻繁につみ、水やりもまめに行っているの、今も元気に咲いていて、ひときわ暑い今年の夏でも霧の里に潤いを感じられる。	猛暑ですが、通ってこられる方が多く、午前中は○教室で来館、午後はコーラスで等と、来館される方たちとの会話も多くなりまして、感謝いたしております。お客様も来れるところがあって嬉しいといわれています。

22年度 サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内 容	効 果
7	9月	第1回「ゆうゆう霧が丘」開催。フラダンス・スクエアダンス・健康体操、コーラス・歌謡舞踊・マンドリン演奏など。特にコミハの特徴として、和室での茶道のお手前披露・先着順150名のお茶の用意。↓更に続く	コミュニティとしては初めてのイベント開催で心配でしたが、ケアプラザと合同開催で3回の実行委員会を開き、利用団体様のご協力を得られ、約500名の来館者を迎えました。↓更に続く
8	9月	空手演武・スポーツ吹矢はめずらしいのか見学者が特に多かった。健康、福祉相談、健康チェック、活動パネル展示など、ケアプラザサイドではそば打ち見学と試食、おにぎりもたされました。	各団体はたくさんの方達に披露出来、拍手を頂いて励みになりました。ありがとうございました。と、お礼の言葉を頂きました。しかし、自転車がなかったのと、ミニ講演(ケアプラザ企画)の宣伝が足りず、入場者が少なくて残念という反省点もあります。
9	10月	図書コーナー本棚の本の並べ方が、扱いにくく探しにくい。	図書本の並べ方を変更した。すっきりとして探しやすくなりました。との声。
10	11月	女性のブーツでの来館が増えてきた。下駄箱には折らないと入らず、玄関フロアや下駄箱の上に置かれると美観上、衛生上よくないので施設として検討。	土足禁止の施設ですので、プラダンを使用してブーツ置き場を作成した。「こまやかに考えて頂いてありがとうございます。」と、大変喜ばれた。(プラダンはベニヤ板の大きさをプラスチックで出来ていて扱いやすい)
11	11月	霧の里秋の事業の一環として、敷地内の草取りをしてパンジー・チューリップ球根が植えられました。利用団体さんにもお手伝いいただきました。	色とりどりのパンジーが咲揃ってとてもきれいです。団体さん自身が植えている事により、大事に見守って下さいます。更に地域が植えた皇帝ダリヤが咲き始め、コスモスも風に揺れて素敵な景観を作っています。来館者も勤務者も癒されます。
12	12月	お客様よりの希望図書がかなり多く、最近話題の本を中心にしながら出来るだけ希望に沿うように考慮した。大げさでなく、手作りのさりげないクリスマスの飾り付けが褒められた。	「霧が丘は良い本が揃っているね。」図書コーナーに来るのも楽しみです。と、喜んで頂いております。報告書にクリスマスシールを貼ってお客様に渡していたので、雰囲気があっという間。と、楽しんで頂けた。
13	1月	自動ドア正面に生け花の先生がボランティアで松を活けてくれました。自主事業より立ち上がって日が浅いグループですが、はがき絵の会の作品をピクチャーレールにて目立つ場所に展示した。	新年でもあり、玄関もスッキリし、又、廊下の雰囲気も明るくなり、その団体は高齢の方が多いため、日々、上達するような気持ちが出てとても励みになります。と、仰っていただきました。

22年度 サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内 容	効 果
14	1月	2月21日予定の自主事業「雛飾りを作ろう」に際し、事前にモデル作品を作り、事務室前に展示した。	回覧を見た方は気づいて下さり、「これが作品ね やってみようかな?」とか、地域外の方も、いいわね・可愛いね。作れるかしら?」と、注目され、申込もされました。
15	2月	学習コーナー図書コーナーに防犯カメラダミーと防犯ミラー(2カ所)設置しました。	おたがいの安心安全のためだよ。と、利用者さんより言葉をいただきました。
16	3月	地震の為に皆、エレベーター中止や計画停電に協力し、利用団体さんは夜間利用も自粛されています。その中で今年度最後、卓球の自主事業を行った所、中学生も多く参加し小学生に教えてくれて、お互いに良い交流ができました。	久しぶりに元気な子供たちの声があり、休憩も忘れるほど、夢中でボールを追いかけていました。その姿をみて、引率の保護者もとても喜んで感動していました。

(様式 6)

平成22年度修繕一覧

施設名 霧が丘コミュニティハウス

No.	修繕年月日	修繕箇所	金額	業者名
1	22.12.27	リソグラフ クランプ、排版がイド修理	22,890	(株)有隣堂
2	23.2.25	霧の里 正面扉修理	4,725	(株)久保田建設
3	23.2.25	トイレ配水管修理	6,722	管清工業(株)
4	23.2.25	階段中央壁部手摺取替え	113,984	(株)久保田建設
5	23.3.30	PCプリンターベルト交換	53,865	(株)有隣堂
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
		合計	202,186	

霧が丘コミュニティハウス運営委員会規約
平成20年3月15日制定

<設置>

第1条 本会は、横浜市霧が丘コミュニティハウス運営委員会（以下「運営委員会」とする）と称し、事務局を、横浜市緑区霧が丘3丁目23番地 横浜市霧が丘コミュニティハウス（以下「コミュニティハウス」とする）内に置く。

<目的>

第2条 運営委員会は、緑区区民利用施設協会規約に基づき、コミュニティハウスを運営し、地域における生涯学習活動や地域住民の自主的活動、相互交流を通じ、地域住民の意見を反映させた地域活動の振興を図ることを目的とする。

<事項>

第3条 運営委員会は、上記の目的を達成するため、次の事項を協議する。

- 1 コミュニティハウスの利用調整に関すること。
- 2 運営委員会規約の改廃に関すること。
- 3 利用に関する要綱、細則の改廃に関すること。
- 4 利用者の要望を反映させるコミュニティハウスの運営に努めること。
- 5 コミュニティハウス運営について意見を具申すること。
- 6 施設に勤務する館長及びスタッフの推薦と認定。
- 7 その他、コミュニティハウスの事業推進に必要な事項。

<委員>

第4条 運営委員会は次の者をもって構成する。

- 1 自治会代表
- 2 委嘱委員
- 3 学校関係者
- 4 PTA代表
- 5 その他、特に運営委員会会長が必要と認めたもの

<役員>

第5条 運営委員会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名及び副会長若干名を置く。
- (2) 会長及び副会長は、委員の互選により選出する。
- (3) 会長は運営委員会を代表し、会務を総括する。
- (4) 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときには、その職務を代理する。

<任期>

第6条 委員及び役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

<会議>

第7条 運営委員会は、会長が招集し、議長となる。

2 必要時は関係者の出席を求め、意見等を聞くことができる。

<規約の改正>

第8条 この規約は運営委員会において委員の過半数をもって改正することができる。

<委任>

第9条 この規約に定めるものの他、必要な事項は会長が運営委員会にはかり、定めることができる。

附則

(施行期日) この規約は、平成20年3月15日から施行する。
(施行期日) この規約は、平成21年4月1日から施行する。
(施行期日) この規約は、平成22年4月1日から施行する。
(施行期日) この規約は、平成23年4月1日から施行する。

平成22年度横浜市霧が丘コミュニティハウス運営委員会名簿

	氏 名	団体名(自治会町内会名など)
会 長	塚田 順一	霧が丘連合自治会会長
副会長	尾崎 博	霧が丘4丁目自治会会長
委員	今野 昌弘	霧が丘体育指導委員会副会長
委員	飯柴 迪久	霧が丘青少年指導員会会長
委員	谷岸 美砂子	保健活動推進員会 霧が丘地区会長
委員	後藤 源一	環境事業推進委員連絡協議会霧が丘地区代表
委員	川村 泰子	消費生活推進員会霧が丘地区代表
委員	安本とよ子	霧が丘地区民生委員児童委員協議会会長
委員	榮 秀之	横浜市立小中一貫校霧が丘小中学校副校長(小学校)
委員	矢崎 京子	横浜市立小中一貫校霧が丘小中学校PTA副会長(小学校)
委員	葉山 成子	霧が丘地区家庭防災員代表

霧が丘コミュニティハウス運営委員会開催状況

・第1回 平成22年6月5日実施

場所	霧が丘コミュニティハウス研修室 1
出席者	塚田順一・尾崎博・安本とよ子・今野昌弘・谷岸美砂子・川村泰子・矢崎京子 榮秀之・葉山成子・■■■■■・藤井晶子・■■■■■・■■■■■（後藤委員欠席）
【議題】	(1) 22年度事業について 施設利用状況 自主事業 霧の里交流会（仮）利用団体と交流 その他
【意見等】	・全体稼働率は前年度との比較で向上している・広い研修室1の利用が多い（体操・ダンス）・自習室は高校生大学生の利用が増・住宅地であるので夜間は稼働が低い・霧の里交流会への開催に向けて準備をします。代表者会議を行います・スタッフ1名増員され円滑に進む・学校側一小学生は公共施設を知る勉強があるので利用するように指導します・自治会としてこの施設はありがたい・良い環境なので利用しやすい・スタッフが利用前に窓を開けて空気入れ替えをしてくれるので、気分が良い・本の整理整頓を利用する子どもたちに丁寧に指導している時もある・植栽作業にお礼・決められたルールは守る・いろいろなニーズに合った利用ができるので良い

・第2回 平成22年10月9日実施

場所	霧が丘コミュニティハウス研修室 1
出席者	塚田順一・安本とよ子・谷岸美砂子・後藤源一・葉山成子・榮秀之・矢崎京子・今野昌弘・■■■■■・藤井晶子・■■■■■・■■■■■（川村委員欠席）
【議題】	・報告事項：(1)平成22年度上期施設利用状況 (2)平成22年度上期自主事業の報告 (3)平成23年度スタッフ募集について (4)印刷機利用について (5)その他
【意見等】	・前年度に比較し3%アップ・和室利用者は3団体のみ・個人利用者は前年より1000人以上の増・自主事業は具体的に予定を報告（地域回覧）・霧の里交流会「ゆうゆう霧が丘」は9月11日当日、見学者多く456名で盛況でしたが自転車来館が多く混雑、徒歩での来館を明記の必要があった・館長補佐の応募年齢は63歳までとする・印刷機利用はNPO法人でも使用不可（営利目的に含む）、自治会関係、福祉、一般利用者は可、利用金額は現行通りとする・来館は原則徒歩で願います、子どもは自転車来館は禁止で学校朝会で伝達しています

利用者会議開催状況

・第1回 平成23年3月12日

場所	霧が丘コミュニティハウス研修室 1
出席者数	49名（事前に要望・登録団体の情報公開の有無を確認）
【議題】	・複合施設「霧の里」の運営・駐車場利用について・入退館について・各研修室・和室利用に関して・清掃について・利用申込について・要望事項について・登録団体の情報公開について・意見交換・職員対応・その他
【意見等】	<施設利用について> 予約方法（電話で予約したい）、東門側からの出入り、バイクの乗入れ許可についての要望あり。・・・全て現行通りのまま。限られたスタッフの人数、防犯、安全上の問題があるため。<防災> 正しい情報に基づいてお互いに助け合うことの確認。ガラスについて・・・古いので自然に割れることもあり注意。<その他> 無料で施設が使用出来ること、施設があることに対する感謝の言葉を頂いた。

施設名：霧が丘コミュニティハウス

利用者からの意見

苦情対応状況やアンケート集計で対応させていただきます。

職員研修の実施実績等

平成22年度
霧が丘コミュニティハウス

1回目	
日 時	平成22年6月28日（月）午前10時～12時まで
内 容	霧が丘コミュニティハウス学習コーナーで開催 講師：緑区区民利用施設協会事務局長 鹿嶋富美雄氏
	・個人情報の管理の仕方
	・人権について
参 加 者	
2回目	霧が丘防災訓練
日 時	平成22年9月4日（土）～5日（日）
内 容	霧が丘宿泊訓練
	霧の里防犯防災活動センター・グランド・ピロティ
	・炊き出し訓練—班別に買出し・鍋・釜の準備
	・投光機・ライト・寝る場所の準備
	・霧が丘独自の水洗トイレ設置
参 加 者	
3回目	霧が丘総合防災訓練に参加（霧の里グランド）
日 時	平成22年9月5日（日）
内 容	・消火器取扱い訓練・煙体験訓練・担架作成訓練・イス利用搬送訓練
	・2階からシーツを利用しての脱出訓練
	・炊き出し訓練
参 加 者	は勤務)
4回目	スポーツ広場・防犯・防災活動センター・コミハ・ケアプラザ・IISJ
日 時	平成22年10月28日（木）13時30分～14時30分
内 容	霧の里敷地内 消防職員立合い訓練
	・消防職員立合119番通報（コミハ事務所より通報）
	・避難誘導訓練 避難経路確認
	・水消火器消火訓練 駐車場にて
参 加 者	
5回目	接遇研修（お客様から感じが良いと思われるように・多くの方にご利用頂く為に）
日 時	平成23年3月18日（金）14時～16時 中山地区センター
内 容	・お客様心理を理解するために（IQよりEQが大切・状況に合わせた対応）
	・感じの良さを提供する（体を動かす・頭を働かせる・人とのふれあい）
	・第一印象の怖さ・影響力の大きさを知る。
	・笑顔ポイント あいさつ ・N0を上手に伝える。
参 加 者	
実務研修	新スタッフオリエンテーション（3月28日）・実務研修
日 時	平成23年3月20日（日）～3月30日（水） 霧が丘コミュニティハウス
内 容	・「霧コミハスタッフのしおり」使用 設置理念に基づいた運営方針
	・明るい笑顔と思いやりの心で対応しましょう。
	・個人情報の厳守に努める
	・受付・利用集計事務・図書業務・清掃・環境美化・地域との関わり等
参 加 者	

平成22年度地区センター管理運営業務点検報告書

対象施設	霧が丘コミュニティハウス
対象期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
指定管理者	緑区区民利用施設協会
実施日	4/15、7/15、10/21、1/13
点検方法	現地視察及び館長等のヒアリング、その他書類調査
講評	概ね良好。 年間を通じて、利用者の安全・安心な管理運営が図られていました。 ケアプラザと合同でイベントを開催するなど、複合施設として他の施設と連携がとれていました。 稼働率は年々向上してきていますが、さらなる向上、利用者の拡充に努めてほしい。
指摘事項	特になし
改善状況	・ケアプラザと共同でイベントを行い、コミュニティハウスへの来館者層の拡充を図るとともに、コミュニティハウスの利用者団体へ日頃の練習の成果を発表する場を提供し、イベント来場者との地域交流の場ともなっていた。
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

業務点検結果シート(平成22年度総括)

施設名: 霧が丘コミュニティハウス

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
隔月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	良好。ただしさらなる拡充が必要
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	夜間利用を含めさらなる向上が必要
	開館時間・休館日	開館時間、休館日	問題なし
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	良好
		職員等に対する研修の実施状況	良好
	施設の管理状況	事業計画書どおり実施しているか(第三者への委託状況等)	適正
		施設修繕の実施状況及び区への報告	適正
備品	備品(種)の購入・廃棄状況	適正	
広聴、ニーズ把握	広聴(口頭、電話、ご意見箱、アンケート、ご意見ダイヤル等)の状況	良好	
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率 ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	適正
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金	適正
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	良好
年1回	利用方法	利用要綱の内容、利用者への周知等	良好
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	適正
		管理者独自の取組	適正
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成状況	適正
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成状況	適正
		防災計画書の作成・提出状況	適正
環境への取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画その他の横浜市の環境対策に沿った取組	適正	
保険	施設賠償責任保険	適正	
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	問題なし
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	問題なし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	発生なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	問題なし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	申請なし
	ご意見ダイヤル	掲示の有無、内容	問題なし
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	・昨年度に引き続き、夜間の図書貸し出し日を設定し、また図書コーナーの充実など、利用者サービスの向上に努めていた。 ・「ゆうゆう霧が丘」をケアプラザと合同で開催し、日頃の利用団体の発表の場とするなど、地域交流の一つとなっていた。		特になし